

事業概要シート

施策 0102 親と子の健康増進

≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	乳幼児育成指導事業	現状維持	予算額	1,267 千円
事業期間	平成9年度 ~			≪ 1,267 ≫千円
根拠法令 要綱等	母子保健法 第2次健康おおむら21計画	財 源 内 訳	国庫支出金	0 千円
			県支出金	0 千円
			地方債	0 千円
			その他	0 千円
			一般財源	1,267 千円

【事業の目的・概要・対象】

【親子愛あい広場】

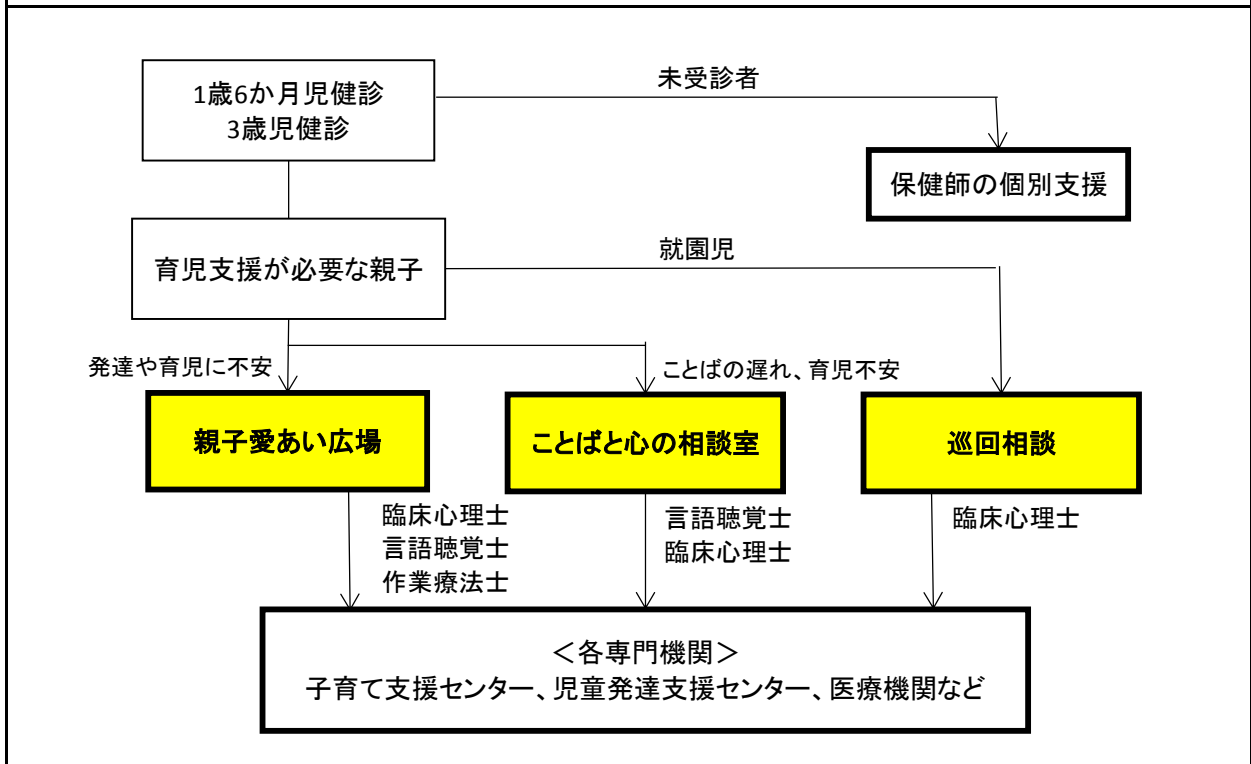
こどもセンターにおいて週1回（8回シリーズ年間5クール）開催し、感覚遊び等のプログラムを通して、専門スタッフが子育てに関することや子どもの発達等についてアドバイスを行う。また、支援が必要と思われる児及び保護者に対し、クール終了後に相談会（年間5回）を実施する。

【ことばと心の相談室】

こどもセンターにおいて、ことばの相談（偶数月2回・奇数月3回）、心の相談（毎月1回）を開催し、言語聴覚士や臨床心理士による個別相談を行う。

【巡回相談】

乳幼児健診後、支援が必要と思われる児が通園している保育園や幼稚園に臨床心理士等の専門スタッフが出向き、適切な支援に関する指導・助言を行うとともに、各専門機関へ斡旋を行う。



【背景】

近年、ことばの遅れや運動発達に気になる子どもが増えてきている。子どもの発達に悩みを抱える親同士の交流や専門スタッフによる指導・助言等により育児不安の解消を図るとともに、子どもの健全な発達育成のために各専門機関につなげる必要がある。

担当課	こども未来部こども家庭課	課長	西村 隆
担当者	中島 里美	問合せ先	0957-54-9100

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	親子愛あい広場の参加組数（延べ）	組	280	241	241	241	241
②	ことばと心の相談室の相談件数（延べ）	件	152	170	170	170	170

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	親子愛あい広場により問題解消及び医療機関につながった割合	%	14.3	17.0	17.5	18.0	18.5
②	ことばと心の相談室により問題解消及び医療機関につながった割合	%	43.4	43.9	44.4	44.9	45.4

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	1,141	1,114	1,267	1,267	1,267	1,267	7,323
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	1,141	1,114	1,267	1,267	1,267	1,267	7,323
人件費	6,001	3,859	4,727	4,727	4,727	4,727	28,768
職員(人)	0.64人	0.52人	0.52人	0.52人	0.52人	0.52人	3.24人
時間外勤務(h)	72h	39h	39h	39h	39h	39h	267h
嘱託員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	7,142	4,973	5,994	5,994	5,994	5,994	36,091

妥当性 (市の関与)	1歳6か月児や3歳児健康診査等において支援が必要と思われる子どもに対し、母子保健事業への参加を促している。専門スタッフと連携を図り子どもの健全な発育を支援することが必要である。
有効性 (施策貢献度)	発達障害のある子どもは、早期から発達段階に応じた支援を行うことが重要であり、集団活動や個別相談など、個々の状況に応じた適切な対応が必要である。
効率性 (コスト)	各種事業には、それぞれ必要な専門職を効率的に配置し、指導・助言等を行っている。

1次評価	担当者の記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり